

世界遺産 セミナー

田辺市本宮町の和歌山県世界遺産センターは2月10日から3月9日にかけて、同センターで4回連続講座

「世界遺産マスターが見た高野・熊野」を開く。時間はいずれも午後1時から。参加無料。定員は各回40人程度。

県は昨年度から民間の活力を生かし、官民が一体となって保全啓発活動に取り組む和歌山県世界遺産マスターを認定。今回は4人の世界遺産マスターがこれまでの経験と活動を基に講師としてセミナーを担当する。問い合わせは、同センター(電話0735・42・1044)まで。

講座の日程とテーマ、講師は次の皆さん。

▽2月10日(日) 若林春次「熊野観心十界曼荼羅を絵解く」

▽2月24日(日) 浜田八州男「熊野とカントリーライフ」

▽3月2日(日) 森

田進「熊野、高野に見られる風水の循環形態・縄文のスピリット」
▽3月9日(日) 小野田真弓「世界遺産の持つ社会性とメッセージ性について」